

千葉県銚子市沖における協議会（第6回）

○日時

令和7年9月8日（月） 14時00分～15時36分

○場所

ホテルポートプラザちば 2階 ロイヤル
（WEB会議を併用）

○参加者（※WEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 部長

小林 大和

経済産業省 資源エネルギー庁

新エネルギー課風力政策室 室長

古川 雄一

国土交通省

港湾局海洋・環境課 課長

馬場 智

農林水産省

水産庁資源管理部管理調整課 計画官

馬場 俊介

千葉県 副知事

高梨 みちえ

千葉県 商工労働部 部長

関 雄二

銚子市 市長

越川 信一

旭市 市長

米本 弥一郎（欠席）

千葉県漁業協同組合連合会 代表理事会長

坂本 雅信

銚子市漁業協同組合 副組合長理事

和田 一夫

海匠漁業協同組合 代表理事組合長

伊藤 勝康

関東旅客船協会

（代理：有限会社銚子海洋研究所） 所長

宮内 幸雄

東京理科大学

創域理工学部社会基盤工学科 嘱託教授

菊池 喜昭（欠席）

一般財団法人

日本エネルギー経済研究所 理事

工藤 拓毅

一般社団法人海洋産業研究・振興協会

事務局長兼研究部長

塩原 泰

一般社団法人

海洋エネルギー漁業共生センター 理事	渋谷 正信
足利大学総合研究センター 特任教授	永尾 徹
三菱商事株式会社	
常務執行役員	
電力ソリューショングループCEO	岡藤 裕治
三菱商事洋上風力株式会社 代表取締役社長	田中 俊一
千葉銚子オフショアウィンド合同会社	
三菱商事洋上風力株式会社	
プロジェクトディレクター	伊原 弘雅

(オブザーバー)

環境省大臣官房

地域政策課洋上風力環境調査室 室長補佐 野玉 悠葵※

○議題

(1) 本協議会の運営について【審議事項】

- 経済産業省（事務局）より、資料3（千葉県銚子市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 座長より、協議会の公開の方法について、議事要旨及び議事録の公表及び一般傍聴や報道関係者の傍聴を認めることに加え、議論の透明性の観点から録画配信を行うことについて提案、承認された。

(2) 事業性再評価の結果と今後の地域での取組について【報告事項】

- 三菱商事株式会社より、資料4（千葉県銚子市沖洋上風力発電事業に係る事業性再評価概要、及び今後の地域での取組説明）を説明。

銚子市漁業協同組合

- 事業者に対しては、4年間共に、漁業共生に取り組んでいただき、また、別途、ブルーカーボンの取組みにも協力をいただいております、感謝申し上げます。
- 当漁協は、洋上風力と漁業共生の全国のモデルケースとして、取組みを進めてきており、これを止めることはできない。次の事業者が決定し、引継がれるまで、継続していきたいので、協力をお願いしたい。

海匠漁業協同組合

- 銚子市漁業協同組合と同意見であり、よろしくお願いします。

三菱商事株式会社

- 漁業関係者の方々とは可能な限りのことを行っていきたいとの思いで
ご一緒させていただいている。今後どのようなことが求められ、続け
ていかなければいけないのか相談をさせていただきたい。
- 次の事業者にはバトンを繋ぐことも非常に重要であるとの認識であり、
どのようなことをどのような形で進めていくことが皆様の役に立てる
のか、相談させていただきたい。

千葉県漁業協同組合連合会

- 全漁連の会長との立場でもあり、事業者に対しては、現状では今回の
撤退について理解できる状況では無く、地元や漁業者との軋轢や問題
を残さない形で撤退し、次の事業者へ引き継いで初めてある程度の理
解ができる、とのことを申し上げている。
- 経済産業省大臣に対しては、全漁連としての要望書を提出させていた
だいており、今回の件は千葉、秋田だけではなく他の地域において進
められている洋上風力発電の計画や、今後計画を考えている漁業者や
自治体に対して大きな影響を及ぼすものであり、撤退のやり方に問題
があると全国の漁業者が不安を抱き、事業に協力できない事態とな
り、国が進めているエネルギー政策に支障をきたすこととなるため、
関係地域において混乱が生じないよう責任を持って対応いただきたい
とのことを強く要望している。
- 全国各漁連に対しても、全漁連として要望を行っていることを伝えて
おりしっかりやって欲しいといった応援をいただいている。
- 県漁連としては、漁業者に不利益が生じないよう今まで行ってきた基
金なども含めた漁業共生について次の事業者が決まるまで切れ目なく
行っていきたい。
- 事業者との間で、何かしらの問題が生じた際には保証金もあることか
ら国が責任を持って間に入り対応いただきたい。

三菱商事株式会社

- 洋上風力事業から撤退により皆様にご迷惑をおかけしたことを大変申
し訳なく思っている。
- 地域の皆様への共生策、地域の皆様に資する取組みについては、どの
ような形でどのように進めていくことが皆様の役に立てるのかなど相
談させていただきながら続けていきたい。

銚子市

- 今回の撤退については、地元銚子の期待を裏切るものであり大変遺憾である。大幅な物価上昇や環境の変化があったとはいえ、事業の予見性や入札時の売電価格の設定には疑問を持たざるを得ない。
- 地域振興の取組みについて、事業者が２０２２年に銚子支店を開設、当市との地域創生に関する連携協定を締結した。協定に基づき当市や産業界と連携をして取組みを共同で進めてきた。
- 銚子市立病院内へのローソンの設置、観光情報を発信する観光パスポートの事業、事業者グループ企業、銚子商工会議所、銚子市の三者で食に関する連携協定を結び、市内の食品企業の商品開発や販路拡大、ＡＢＣクッキングスタジオと連携した魚食レシピの開発、児童生徒へのＳＴＥＡＭ教育などを行っていただいております、このように連携して進めてきた地域振興事業は洋上風力から撤退するので終了とのことではなく、今後も継続いただくよう強く要望する。
- 銚子市漁協、銚子商工会議所、銚子市の三者で立ち上げた、メンテナンス会社であるＣ－ＣＯＷＳ（シーコース）、地域企業への影響の把握、補償について、発電事業者の決定以降２０２８年の発電開始に向けて地元企業は様々な準備を行ってきており先行投資を行ってきた企業もある。
- Ｃ－ＣＯＷＳ（シーコース）については、２０２８年頃の発電開始を見込み、地元高校生への説明、社員の募集を進めてきており、また、全国から洋上風力視察受入れの事業も進めてきた。
- Ｃ－ＣＯＷＳ（シーコース）以外においても、今年１月に着工予定であった陸上工事について、発注内示に基づき準備を進め既に費用が発生している企業もある。
- 今回の事業撤退は、Ｃ－ＣＯＷＳ（シーコース）や地元企業に対して大きな影響や損害を与えるものであり、今回の撤退により発生する様々な影響や損害を調査いただき、その補償についても協議を行い対応いただくよう強く求める。
- 事業開始までの期間短縮を図るため、これまで事業者などが行ってきた海底などの調査データの全面的な提供を当市としても願います。

三菱商事株式会社

- 地域の振興に資する様々な取組みについて、銚子支店を継続し引き続き皆様の声を聞きながら継続していきたい。
- 地元の企業への影響について、これまで工事等において様々な相談を

させていただいており、当然のことではあるが引き続き皆様の声を聞きながら責任を持って対応していきたい。

千葉県（副知事）（事務局）

- 県や地元においては再生可能エネルギーの確保だけでなく、地域経済の活性化の観点からも洋上風力発電事業に期待をしていた。
- 県においては、県内企業の参入に向け陸上工事と風車部材の製造分野での商談会の開催や風車等のメンテナンス港として活用するための名洗港の整備など様々な事業を行ってきている。
- このような中撤退との決定に至ったことは大変遺憾であり、結果として県、地元が共に振り回される形となった。
- これまで洋上風力発電を契機として地域において、様々な取組みが行われてきた。事業者から今回説明いただいた取組みが全てとのことではなく、事業者グループとして、地域への貢献をしっかりと考えていただくよう強く要請する。

三菱商事株式会社

- 洋上風力からは撤退するが、当社全体として引き続き地域の振興、地域の活性化に資する取組みについて皆様と相談をさせていただきながら続けていきたい。

水産庁

- 漁業との協調、共生策等について、これまで関係者間で議論、調整が行われ既に進んでいる取組みもある状況である。当庁としても、今後十分な議論が行われ漁業者の懸念や不安などが払拭された形で進めていけるよう、省庁、千葉県を始めとした関係機関と連携して対応していきたい。

三菱商事株式会社

- 蓄積してきた海域に関するデータや漁業関係者の方々と共に様々な取組みを行ってきており、漁場などに関するデータについても必要とすることであれば提供させていただき、スムーズに次の事業者につながるようお手伝いしていきたい。

関東旅客船協会

- 洋上風力発電については、地域の新たな観光資源として、大きな期待

を寄せていた。

- 今後、再公募により新たな事業者が選定された際にはデータ等を提供、共有いただき、スムーズに事業を進めていただけるようよろしく願います。

三菱商事株式会社

- ご指摘の通りの覚悟であり、引き続き相談をさせていただきたい。

日本エネルギー経済研究所

- 社会的な大きな変化があったとの認識ではあるが、洋上風力に期待をしていた方が多くいる中で、今回の事業者の判断は残念である。
- 漁業共生、地域共生については、引き続き取組みを継続いただけるとのことであるため関係者とできる限りの議論を行っていただきたく考えている。
- 協議会においては、地域との共生を中心に議論が行われてきたが、事業持続性と地域共生のバランスもあり今回の件で洋上風力にはリスクもあることも再認識したため、そのような点も含め関係者間において、より良い枠組みや制度となるよう議論が行われていくことを期待している。

三菱商事株式会社

- 次の事業者にスムーズに繋いでいくことが大きな責任の1つであるとの認識であり、ご指摘を肝に命じて進めていきたい。

海洋産業研究・振興協会

- 第1ラウンドの促進区域の事業者が撤退との事態は、他の促進区域や現在誘致を進めている地域に大きな影響があると言わざるを得なく、誘致しても撤退するかもしれないとの疑念を抱かれるなど合意形成上の悪材料となってしまったものと考えている。
- 撤退の事実を変えることはできないため撤退により地域に悪影響、悪い評判が生じないように、事業者においては地域への取組みを真摯に進めていただきたく考えている。

三菱商事株式会社

- 地域共生、地域の皆様の役に立つ取組みについては、しっかりとやらせていただくという覚悟。

海洋エネルギー漁業共生センター

- 銚子における洋上風力と漁業共生の取組みは、全国の見本となるような取組みをされて成果を出されている。具体的には、海域の実態調査により海域が見える化しそこから漁業共生策を見つけ実証を行って成功させていくといった非常に具体的な取組みが行われている。
- 漁業共生策としては、イセエビの増殖実証、コンブの育成実証、キンメダイ漁場の資源調査、天然アワビの資源管理、アラメなど海藻の資源調査、ブルーカーボンなどの取組みが行われている。
- 人材育成の取組みも行われており、銚子市漁協では若手の人材育成と共に漁業共生の取組みを進めていくため漁協職員の人材育成も行われている。
- このような取組みが実現できたのは、銚子市漁協、漁業者、事業者が一体となり取組みを進めてきたからである。このように積み重ねてきた前向きな取組みを中断させることはすごくもったいない。銚子には、伸びしろも多くあり、今後も、漁業共生が良い形で継続され全国の良い見本となることを期待している。

三菱商事株式会社

- 海や漁業の専門家ではない中、銚子市漁協や県漁業の方々と相談させていただきながら必要とされることについて可能な限りのお手伝いをさせていただきたいとの思いで進めてきた。
- 洋上風力から撤退したから終了とのことでなく、皆様のお役に立つとの観点から何を行っていくかを相談させていただきながら続けていきたい。

国土交通省（事務局）

- ブルーカーボンの取組みについて、当省としても全国的な取組みとして推進をしており、様々なノウハウもあることからサポートさせていただきたい。
- 名洗港の整備については、洋上風力発電事業において欠かすことのできない重要なインフラ整備である。現在、千葉県において整備が進められている。今回の決定により少し遅れる可能性はあるものの必要なインフラのため当省としても相談をさせていただきながらしっかりと進めてまいりたい。

足利大学（座長）

- ご意見を伺うと、洋上風力への期待が非常に大きかった反面、今回の撤退は残念であり、共生策などを上手く受け継ぐようにしていけるようにとの意見が多数であった。
- 本日の意見・質問を踏まえ、国においては事業環境整備に向けて取組を進めるとともに事業者においては地域の声として真摯に対応をお願いしたい。

(3) 県の今後の取組等について【報告事項】

- 千葉県（事務局）より、資料5（今後の取組等について）を説明。

銚子市漁業協同組合

- 県の説明の通り進めていただきたい。

海匠漁業協同組合

- 銚子地域の未来創造会議の設置という提案は賛同する。地元にとって、事業者の撤退は、非常に暗いニュースであるが、県が設置する未来創造会議においては銚子に明るい未来が示されるよう検討いただけることを期待している。

千葉県漁業協同組合連合会

- 未来創造会議の設置は大変ありがたい。可能な限り速やかに協議を重ねて結論を出し再公募が早く行えるようサポートをお願いする。

銚子市

- 県に対しては9月1日に地元企業のダメージや損害について、アンケートなどにより調査をいただきたい旨を申し上げた。9月5日よりWEB形式での調査を開始いただき、またWEB形式で簡単な調査を行った後、影響があった事業者については更に踏み込んだヒアリングなどを行っていくことも聞いている。
- 相談窓口についても、迅速に設置いただいた。事業者に丁寧に寄り添った対応をお願いする。
- 未来創造会議の設置についても地元の要望を踏まえて迅速に提案をいただき感謝申し上げます。事業者に申し上げた地域振興、地域創生の取組みとその継続については、再度、未来創造会議において協議いただきたい。また、事業者に会議に参加いただくことを強く要望する。
- 会議においては今回の撤退に伴うことだけではなく、再公募や今後の

地域振興について前向きな議論を行いたい。

海洋エネルギー漁業共生センター

- 未来創造会議について現場に即した具体的な議論を行っていただきたい。ネガティブな状況をポジティブな状況へ変えていくためにも非常に大事な会議であると考えている。

日本エネルギー経済研究所

- 未来創造会議の設置は引き続き共生策等を考えていく上で非常に意味のあることである。再公募の際には協議会意見として当該会議を行うとのプロセスを追加していくこととなるのか、連続性を勘案していく必要がある。

三菱商事株式会社

- 未来創造会議を通じて地域の役に立つ取組みがどのようなことであるかどのような形で進めていけばよいのかなど相談をさせていただけるものと思っている。詳細は今後決まってくるものとの認識であり、相談させていただきながら前向きに検討したい。

千葉県（事務局）

- 銚子地域の未来創造会議の設置提案について地元関係者の皆様から賛同いただき感謝申し上げます。
- いただいた意見を踏まえながら会議の出席者を含めて関係者の皆様と調整させていただき早期に会議を開催させていただきたい。
- 事業者に対しては会議への参加を強くお願いする。

足利大学（座長）

- 未来創造会議への期待が大きく再公募も含めて早急に進めていくこと、事業者に会議に参加いただくことなどの意見を踏まえ今後の検討を進めていただきたい。

（４）国の今後の取組について【審議事項】

- 経済産業省（事務局）より、資料６（今後の取組について）を説明。

旭市（＊欠席につき千葉県（事務局）が代読）

- 千葉県銚子市沖洋上風力発電事業から事業者撤退の発表を受け、地元

からはこれまで推進してきた漁業、地域振興等への影響を懸念する意見が多く挙がっている。

- 国及び事業者においては地元からの声をしっかりと聞いていただき、洋上風力発電事業が地域と共存共栄を果たせるよう配慮いただくようお願いする。
- 国においてはこの度の事例を反省として活かし、原因と改善策を掘り下げ、事業者公募、選定基準の改善に取り組んでいただき速やかな再公募に繋げていただきたい。
- 現段階においても漁業者を始めとする地元の方々は洋上風力発電事業に対して大変不安を感じており、再び同様の事案が起きた場合は事業そのものに対し理解を得ることが難しくなることを危惧している。
- このことを踏まえ今後の事業進捗については細心の注意と慎重を期し、外部専門家等の意見をいただくなどして事業者公募制度の改善を検討いただきたい。

銚子市漁業協同組合

- 事業を立ち止まらせることはできないと思う。速やかに国の審議会において意見を取りまとめ、再公募に向けて進めていただきたい。

海匠漁業協同組合

- 銚子市沖だけでなく旭市沖でも洋上風力発電の導入を検討し国への情報提供を行ったところである。このような中、銚子市沖の事業者が撤退することで旭市沖の事業にも影響が生じることを心配している。
- 国においては確実に事業の完遂が可能になる事業環境の整備や事業者の再公募を速やかに行っていただきたい。

千葉県漁業協同組合連合会

- 撤退について地元との間で問題が無いように撤退がなされなければ再公募は無いと思う。今後しっかりと協議を行っていただきたい。
- 再公募によってこれまで地元と事業者との間で協議、合意していたことがどのように引き継がれていくのか大変な不安がある。可能な限り早急に再公募を行うことも必要であるが、現在行っていること今後行う予定であったことを確実に引継いでいただきたい。

銚子市

- 今回の事業者の撤退は漁業共生や地域振興への期待が大変大きかった

ため地元としては大変大きなショックを受けている。

- 国に対して経済環境の変化への対応や制度設計に問題があったことは否めないと思う。持続可能な投資環境の整備と制度設計、地元との合意形成、迅速・確実な再公募を強く要望する。
- 今回の事業者の撤退により促進区域の指定が取り消されることではない。銚子市沖は風や海の条件に恵まれ第1ラウンドにおいて促進区域に指定された洋上風力発電の適地である。当市としてはこの優位性を活かし地域と共存共栄する洋上風力発電の実現に全力で取り組んでいくとの考えに変わりはない。
- 国に対しては同じ轍を踏むことがないように経済産業省大臣が述べている通り撤退要因の分析、検証と改善策の構築、再公募に向けた事業環境の整備、国内におけるサプライチェーンの構築に取り組んでいたが国が再生可能エネルギーの切札と位置づける洋上風力発電事業の採算性が確保され、安定した確実な運営ができるよう持続可能な制度設計、再公募指針の策定をお願いする。
- 洋上風力のメンテナンスの拠点港湾である名洗港の整備について、約50億円の整備費用のうち当市は9億円を負担するというスキームで既に昨年度までに3億円を支出している。発電開始が遅れれば浚渫費用など更に費用が嵩むことも考えられるため、港湾の整備についても事業撤退の影響を把握いただきしっかりとした対応を求める。
- 洋上風力発電の投資環境を整備し指針に基づく再公募、新たな事業者の選定が迅速、確実に地元合意の上で進められるよう強くお願いする。
- 先行投資などによって損害が発生している地元企業や団体への補償については、事業者が確実に行うよう国としてもリーダーシップを発揮していただきたい。
- 保証金について今回のような事業者撤退の事態に備えるためのものでもあるべきと考えている。今回の撤退で損害を被った地元企業の補償や再公募をスムーズに進めるための経費として有効に活用することを検討いただきたい。

関東旅客船協会

- 環境アセスメントについて今までの事業者が提出した報告書を新しい事業者が活用することはできるのか。

環境省（オブザーバー）

- 今までの事業者が行っていた環境アセスメントの手続きを新しい事業者が引継げるのかということについては、現在関係省庁で検討が進められている最中であり、明確な回答は難しいが円滑に事業が引継がれるよう検討を進めていく。

足利大学（座長）

- 前の事業者の各種調査結果を新しい事業者が活用することについて、一般論として事業者のポリシーや個別の方法などが異なるため全てを活用できるものではないが、可能な限り活用し重複が無いようにしていくことは必要。環境アセスメントについてもその1つである。

千葉県（副知事）（事務局）

- 事業者不在の期間が可能な限り短くなるよう再公募の早期実施をお願いする。
- 再公募に際しては今回のような事案が二度と起こらないようインフレ、為替変動、金利上昇などがあっても確実に事業完遂が可能となるような制度設計をお願いする。
- 国においては事業者の地域共生等の取組みをフォローしていくとのことであり、県から提案させていただいた未来創造会議においてもオブザーバーとして共に検討を行っていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 速やかな再公募と共に同じ轍を踏まないよう検証しそれを踏まえた事業環境整備、制度整備を行う必要があるとのことについてしっかりと対応していきたい。
- 旭市沖の事業への影響への懸念について、今後制度整備を行っていく中で不安を少しでも払拭していきたい。
- 地元との合意がなされた上での撤退、事業者との合意事項の引継ぎなどの懸念について、これまでの経緯を踏まえ県とも連携し対応していきたい。
- 保証金について公募占用指針において国庫に納付する旨が明記されており難しい面があるが、今後何ができるか検討していきたい。

足利大学（座長）

- 次回以降は、再公募を行うことを前提に検討を進めることとし、具体的には協議会意見の見直しなどを議論していくこととしてはいか

がか。

【異議なし】

- 事務局においては、再公募を行うことを念頭に、次回以降、協議会意見とりまとめの見直し等の調整・整理を行っていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 今後の協議会の進め方について、本協議会としては本海域で再公募を行う方向で調整することとし、その再公募に向けて協議会意見とりまとめの見直し等について次回以降、検討させていただきたい。
- 具体的な開催時期や内容については改めて調整させていただきたい。

足利大学（座長）

- 事務局においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上